

だれもが働きやすい職場を目指して

企業名	ハリウコミュニケーションズ(株)	所在地	仙台市
業種	印刷業	労働者数	35名
電話番号	022(288)5011	ご担当者	取締役 <small>こえし</small> 越路 明美

(取組の目的)

3K職場からの脱却のため、多能工化、作業のシェア化、女性の活躍推進、IT化などを行いながら、長時間労働の削減などをはじめとされたれもが働きやすい職場をめざす。

(取組内容)

○ 時間管理の方法の変更

従前は、事前の申請がなく社員の判断で早出残業、始業時間前の掃除が横行していたことから、鍵管理を徹底し、開錠時間を8:15とした。また、時間外労働の必要性を精査するため、タイムカードのみから、申請制を導入し二重管理に変更した。

○ 全社員の多能工化の推進・女性の活躍推進

- 全社員の複数業務への対応を可能にすることで、大量発注時の他部署からの応援を行うことなどにより、時間外労働の抑制や年次有給取得促進につながるるとともに、結果として部署間の相互理解が進み、良好な人間関係の構築にもつながった。
- 作業分担を見直しし、男性主体の印刷部門へ積極的に女性を登用するとともに、女性の作業しやすい環境を整備した。さらに、女性を管理職へ登用することにより、モチベーションアップとなり、生産性向上効果が期待できる。

*多能工化の例

営業部署と総務部署でも工場や制作部署で行う入力作業、校正作業、封入作業、梱包作業、納品業務等を行うことが可能となった。

*女性の作業しやすい環境の整備の例

女性でも制御しやすい小型の台車の購入や一定の重量のある印刷物の移動時は複数で実施するなどの作業手順の見直し

○ 作業の分担化（シェア化）の推進

- 制作部署において、コンセプト決定後は、複数の者に分担して担当することとして、特定の者への負担が集中しないようにした。
- 営業部署において、1社2人体制にし、効率的業務を推進するとともに年次有給休暇の取得促進につなげる。

○ 機械設備の転換・IT化

- デジタル印刷機への転換により、比較的操作が容易となり、短期間での「多能工化」への移行が可能となった。
- 入稿、校正業務のデジタル化により、関係者間の打ち合わせのため移動が必要なくなり、労働生産性の向上や労働時間の短縮につながった。
- 営業複数担当者制にあたり、リアルタイムの情報共有化に資するためグループウェアシステムを導入した。

○ 健康確保増進対策

- 健康増進（ノー残業デー）の設定-個人ごとに毎週1回指定。定時退勤の励行。
- 健康作りへの取組-健康作り研修の定期的な実施。
 - 健康作りのための情報提供。
 - 月2回「社食の日」を実施。野菜を中心とした食事を社員に提供するなど健康経営に取り組む。
- メンタルヘルスケアの充実-ストレスチェックの実施。高ストレス部門からヒアリングの実施。

(取組の効果・結果)

- 令和2年と令和3年の繁忙期（1月～3月）の比較したところ、令和3年は令和2年に比べ、全部署平均で30%の時間外労働が減少した。
- また、労働生産性に関して、令和元年と令和2年の繁忙期（1月～3月）を比較したところ、令和2年は令和元年に比べ、1人当たりの時間外労働時間数は27.7%減少している一方で、売上は17%増加、加工高は22%増加した。

(今後の取組)

- 取組はまだまだ道半ばであり、目標として年次有給取得率80%以上も目指しているが、現状62%に留まっている。今後も働きやすい職場環境づくり、社員の心身の健康増進等への取組を継続し、ウェルビーイングな職場の実現を目指していきたい。